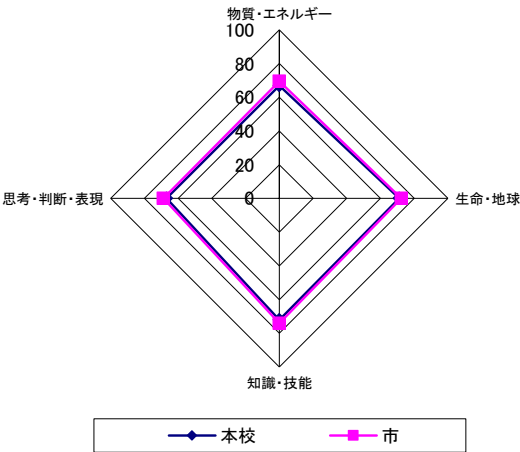


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.9	69.5	65.2
	生命・地球	71.1	72.3	70.1
観点別	知識・技能	72.1	74.0	70.7
	思考・判断・表現	66.9	68.7	65.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●本領域の平均正答率は66.9%で、市の正答率を2.6ポイント下回った。 ○「グラフを読み、食塩水とミョウバンの水へのとけ方について指摘できる」の平均正答率は81.1%で、市の正答率を3.1ポイント上回った。 ○「乾電池2個を使って電磁石のはたらきを強くするために、直列つなぎにすることができる」の平均正答率は71.2%で、市の正答率を2.3ポイント上回った。 ●「実験における条件制御の誤りを指摘し、説明できる」の平均正答率は45.9%で、市の正答率を6.8ポイント下回った。 ●「食塩水をリトマス紙につけたときの色の変化を理解している」の平均正答率は46.8%で、市の正答率を9.9ポイント下回った。	・実験する前に条件制御をしっかりと確認してから実験を行うようにする。さらに実験結果について検討し、説明ができるようにする。 ・リトマス紙を使って仲間分けする実験では、身の回りの水溶液を準備し、児童が興味をもって水溶液を使ってリトマス紙の変化を確認する実験を行い、色の変化をまとめるなど児童の関心を引き出すことで知識の定着を図っていく。
生命・地球	●本領域の平均正答率は71.1%で、市の正答率を1.2ポイント下回った。 ○「農家がテントウムシを畑に放す理由を食物連鎖をもとに推測できる」の平均正答率74.8%で、市の正答率を3.7ポイント上回った。 ○「かん臓のはたらきについて理解している」の平均正答率70.3%で、市の正答率を8.8ポイント上回った。 ●「流れる水のはたらきについて、仮説が正しいといえるための結果を推測できる」の平均正答率70.3%で、市の正答率を6.1ポイント下回った。 ●「予想が正しかった場合の根の断面のようすを推測できる」の平均正答率62.2%で、市の正答率を9.7ポイント下回った。	・実験する前には今までの既習内容を思い出しながら仮説を立てるようにする。 ・植物に取り入れた水が水の通り道を通して、植物全体に行き渡っていく様子を根や茎の縦断面図や横断面図を合わせて考えることで、根や茎の中を縦に貫く水の通り道がいくつもあることを見通しをもって観察・実験するようにする。